

環境保全行動
自動車使用管理実施 報告提出書

2024 年 7 月 23 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住 所

〒 063-8510

札幌市西区西町北18丁目1番1号

氏 名

マルハニチロ畜産株式会社

(代表者名)

代表取締役社長 石黒 裕之

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例 第 1 3 条第 4 項 の規定により、環境保全行動
第 2 3 条第 3 項 自動車使用管理実施
報告書を提出します。

報 告 期 間		2023 年 4 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 31 日									
事業 の 規 模	従業員数	402		人	原油換算した		3320.6		kl		
	使用床面積	16866		m ²	燃料・熱・電気の合計量						
	事業所数	1	事業所	自動車使用台数		8		台			
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素 換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	メタン		N ₂ O		HFC				
		6900 t-CO ₂	t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂				
	非エネルギー起源CO ₂	PFC		SF ₆		NF ₃					
	t-CO ₂	t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂					
報告書の担当部署		担当部署名 担当者氏名 電話/FAX 電子メールアドレス									
計画書提出根拠		条例第 1 3 条 (環境保全行動計画)						☒ 第 1 項 ☐ 第 3 項			
		条例第 2 3 条 (自動車使用管理計画)						☐ 第 1 項 ☒ 第 2 項			
計画期間		2023 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日									
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書		別添のとおり									
備 考											

注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の 3 月 31 日現在で記入してください。

2 事業所数は、報告年度に係る年度の 3 月 31 日現在の札幌市内事業所数を記入してください。

3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。

4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第 4 条に規定する方法により行ってください。

5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第 2 条第 5 項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。

6 □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】
2023 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日
【報告期間】
2023 年 4 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 31 日

行動目標	基準数値	目標削減率	2023年度結果			2024年度結果			2025年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
二酸化炭素排出量の削減	7200 t-CO2	3 %	6900 t-CO2	4 %	○						
資源の有効利用	1019500 枚	3 %	1005500 枚	1 %	△						
廃棄物の排出抑制	1045.29 t	3 %	1089.98 t	▲ 4 %	×						
		%		%							
		%		%							
		%		%							

注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。
2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。
○：目標削減率を達成
△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成
×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理 由
二酸化炭素排出量の削減	○	生産設備の増強・更新、工場内空調設備(省エネ型)、冷蔵設備(自然冷媒)の更新
資源の有効利用	△	裏紙利用や両面コピーが徹底されていないため、僅かな削減にとどまった
廃棄物の排出抑制	×	製造トラブルなどによる廃棄ロスが増加したため